



いながわけいこく
伊奈川溪谷

「南木曾支署」木曾川の支流「伊奈川」は、中央アルプスの檜尾岳（標高二、七二八メートル）と三沢岳（標高二、八四六メートル）とに挟まれた伊奈川国有林の幾重もの沢に端を發し木曾川に注いでいます。一帯は「伊奈川溪谷」と呼ばれ、源流は中央アルプス木曾駒ヶ岳森林生態系保護地や中央アルプス県立自然公園に指定され、空木岳（標高二、八六四メートル）、南駒ヶ岳（二、八四一メートル）などの名峰を目指す登山者をはじめ、清流を楽しむトレッキング等多くの人々が訪れています。

中央アルプスの登山口は伊那谷側のロープウェイからがメインルートとなりますが、伊奈川溪谷から空木岳等を目指すルートも根強い人気を有しています。このルートは関西電力の発電用ダム「伊奈川ダム」の上流にある駐車場から伊奈川に沿って走っている林道を進み、人工林と天然林の織りなす景観を楽

しみながら登山道を登り、やがてダケカンバやナナカマド、シラベといった亜高山帯の樹林を抜けて空木岳と東川岳の鞍部に到着となります。ここには、平安時代末期、木曾に縁のある「木曾義仲」が伊那攻めの時にこの鞍部を登り越えたという古事が残っており、「木曾殿越」（標高二、五〇五メートル）という名前がついています。また、近くには「義仲の力水」という水場もあり、その名水は登山者の気力・体力の回復にも一役買っています。

日本百名山で最後に登る方が多い空木岳から南へは越百山（二、六一三メートル）、北へは木曾駒ヶ岳への縦走が楽しめ、新緑の季節、あるいは紅葉の季節、雪化粧を纏った季節と四季折々を通じ、美しい風景が見られ、多種多様な高山植物も楽しめます。

是非、「伊奈川溪谷」から中央アルプスに登ってみてはいかがでしょうか。

◆アクセス

○公共交通機関を利用した場合

JR 中央西線須原駅または大桑駅下車



コイワカガミ



イワウメ

タクシー利用で伊奈川ダム上部駐車場まで約四十五分
駐車場から木曾殿越まで約六時間三十分



空木岳と木曾殿越



花崗岩石の伊奈川



紅葉の南駒ヶ岳



雪化粧の空木岳

○自動車を利用した場合
国道十九号線伊奈川橋信号から伊奈川ダム上部駐車場まで約四十分